

自己資本比率(単体)

自己資本の額は、内部留保の増加等により、前期末比+35億円の増加となりました。

一方、リスク資産の額は前期末比+52億円と概ね横ばいとなりました。

この結果、自己資本比率は13.37%と、前期末比で+0.08ptの上昇となりました。

なお、自己資本比率の算出基準の変更(バーゼルⅢ最終化に伴う新たなリスク・資産の賦課等)により、前年同期比での自己資本比率は大きく低下しております。

(単位:億円)

項 目	令和6年9月末 (a)	令和7年3月末 (b)	令和7年9月末 (c)	前年同期比増減 (c-a)	前期末比増減 (c-b)
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	5,251	5,216	5,252	+1	+36
コア資本に係る調整項目の額 (B)	1	1	1	△0	+0
自己資本の額 (A-B)(C)	5,249	5,215	5,251	+1	+35
リスク・資産等の額の合計額 (D)	31,292	39,214	39,267	+7,974	+52
信用リスク・資産の額の合計額	30,988	34,829	34,955	+3,967	+126
マーケット・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額		4,013	3,939	+3,939	△73
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	304	372	372	+67	—
自己資本比率 (C/D)	16.77%	13.29%	13.37%	△3.40pt	+0.08pt

